



お江戸舟遊び 瓦版 1073号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティー・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

エコリーダー養成講座 新砂干潟エコアクション

日時：12月1日9時～14時

主催：えこっくる江東 担当：エコリーダーの会

えこっくる江東で干潟の成立ちや野鳥と魚の話の聞き、バスで干潟に移動した。最初に野鳥の観察を行い、次に散乱する海洋ゴミを拾い、最後に、干潟の生物観察・投網を行った。野鳥は、オオバン、アオサギ、イソシギ、カルガモ、コサギ、ハクセキレイ、ウミネコの幼鳥の7種類が観察された。いつも沢山いるカワウは見られなかった。魚介類は、ボラ、ヤマトオサガニ、ケフサイソガニ、スナモグリ、アメリカザリガニの8種類が採集できた。

天気は12月にしては大変暖かく、子供さんたちはカニや魚に関心が高く、楽しい観察会になった。



まずは室内講義



バスで新砂干潟へ



最初は野鳥観察



一文字堤の鳥・カルガモ



皆で干潟のゴミ拾い



ゴミの分類確認



干潟で元気なカニ探し



仕掛けや投網で魚とり



魚介類の解説

伴英幸さんを偲ぶ会

日時：11月17日 13:30～17:00

場所：日暮里サニーホール

開会挨拶：山口幸夫共同代表

- ・ 世界は渾沌としているが、伴さんは諦めなかった。大学を終え生活協同組合に飛び込み、市民科学者になった。原子力は夢の科学ではなかった。高木仁三郎氏同様、不思議な大切な人だった。

呼びかけ人他、追悼の言葉

河合弘之：反原発の旗を掲げ、人類にとって一番大切な目標に向かってひたすら取り組んだ。

中村敦夫：大変残念。人間には利他、自利、自分のために何でもする人の中で、伴さんは**聖人**だった。

浅岡美恵：伴さんは、原発無限責任を有限責任にするのはあり得ないと最後まで闘った。

飯田哲也：伴さんは**しなやかな人**だった。CNICを中心に次世代の人を育てられた。事故があっても止められない日本！ 世界の中で**日本だけ**がしがみつくと、**再エネでエネルギーは自立**できるのに！

若森資朗：生協時代の伴さんは**多摩生協**で時代に先駆け、環境を中心に取組み、脱原発に注力！

金平茂樹：3・11時、**報道番組**に翌日から出て頂いた。脱原発とは言えない時代に努力してくれた。

浅石紘爾：青森には最大の貢献者だ。**再処理反対運動**に大きな力を頂いた。脱原発・脱プルトニウム。

阿部知子：**幸せな人**だった。我々に**宿題を残した**。市民の声を聞いたらやっていけない原発だった。

福島瑞穂：反原発に地べたを這ってきた人々の中で**卓越した市民科学者**だった。遺志を継いでいく！

山崎誠：脱原発が、**GX**で再稼働が進んでしまう！

伊藤延由：2011年飯館ファームに入り、2013年から**放射線量を測定**し、現状を報告し続けてきた。

武藤類子：今までのCNICの福島への支えに感謝。残された私たちは諦めない！

海渡雄一：2012年国民ほとんどが脱原発になったが、**脱原発法**をものにできなかったが、頑張る！

鈴木達治郎：原子力委員会で核燃料サイクルは脳死状態なのに！ 核兵器廃絶を長崎で進めている。

藤本泰成：脱原発は思想だ。よく**一緒に酒を飲んだ**。素晴らしい人だった。

アイリーン中島：伴さんとは強い絆で結ばれた。CNICの当り前を支えてくれた。

末田一秀：伴さんにこんなに**たくさんの方が駆け付けた**。伴さんの大きさを強く感じる。

青木美希：伴さんのラストメッセージ「**なぜ日本は原発を止められないのか？**」を出版した。

大嶋堅一：政府や電力会社、利害関係者の考えは、**一般市民の感覚**からかけ離れている。そのような人たちとも真正面から話の出来るのが伴さんだった。ひるむことなく**誠実に実行**し続けられた。

川崎哲：伴さんは優しく強い方でした。こちらのやり方がガチャガチャでも文句を言わなかった。

夏の原水禁大会で**Tシャツ**を売っておられた。**活動家かくあるべし**という道を教えてくれた。

満田夏花：あれこれ聞いても嫌な顔をせず、的確な**助言と安心感**を与えてくれた屋台骨だった。

池島英紀子：**もんじゅを廃炉**に全国運動によく参加頂き、とって貴重な存在だった。

前田和記：原子力に関する専門的な知見・視点を私たち**阻止ネット**に判りやすく提供し続けて頂いた。

木原省治：いつも笑顔で誰からも好かれ、**血の通う話**ができた。

高木周：本当にお世話になった。**笑顔**には何度となく励まされた。

崎山比早子：文字通り市民科学者のお手本のような人だった。

遺族の挨拶：中島：幸せな人生、ありがとうございました・・・

終わりの言葉：松久保肇事務局長

机は未だ片付けられない。政府の委員会でも大活躍された・・・

伴さんの**遺志を受け継いで**頑張ります。一緒に脱原発を頑張りましょう！

所感：脱原発に捧げた「伴さん」の偲ぶ会に 勇気を頂いた沢山の人々が参加した。 (文責 中瀬)

